入院している患児への食事支援　～仲間と一緒に食べることの意義～

Support to the luncheon party holding of hospitalized children

東４階　南　亜百美　中村有美　大曽契子

【要旨】

入院している患児は一人で食事を摂ることが多く孤食となっている現状がある。入院中の子どもたちも仲間と一緒に食事をする環境が作れないかと考え食事会を計画した。食事会では準備に患児らが参加し楽しみに待つ姿があり、食事中は笑顔が見られ会話が弾み、楽しかったという声が聞かれ意義のあるものとなった。現在は週1回、子どもたちが参加する食事会が定着している。

【キーワード】

患児　食事会　楽しく食べる

【研究の動機・目的】

Ａ病院の小児科は小児慢性特定疾患の患児が長期入院している。入院中の患児は自室のベッドサイドで、一人で食事を摂っていることが多く、食事中はカーテンを閉め切っている患児もいる。食事中にゲームをしながら食べていたり、立位でつまみ食いをして食事を終える患児もいた。面会の家族がいれば一緒に食事を摂ることもあるが、ほとんどの患児は一人で食べていることが多い。

今年度、病棟ミーティングで家族の方から「一人でご飯を食べさせるのはかわいそう、みんなで食べる等の工夫はできないか」という意見が出た。自宅では家族でテーブルを囲み食事を摂るが病院では一人が当たり前となっている現状がある。治療の副作用で食欲不振が出現している上に、孤食はさらに食事の楽しみまで奪ってしまうのではないかと考える。また、学童期は仲間と一緒に食べることの楽しみや仲間と食事づくりの準備にかかわり、能動的なかかわりが育まれる時期であるといわれている[1)]。

そこで入院中の患児も食べる事を楽しんでもらうために、テーブルを囲んで皆で一緒に食事をする環境を整え、その効果を検討することにした。

【研究の背景と意義】

2004年３月、厚生労働省が食育に関する初の指針「楽しく食べる子どもに」をまとめた。子どもの食を取り巻く状況を分析した上で、発達に応じた「食べる力」を育てるための目標を設定している。その中で、食を通じた子どもの健全育成（食育）の目標「楽しく食べる子ども」に成長してい

くために、具体的に５つの子どもの姿を目標とした。「１，食事のリズムがもてる」「２，食事を味わって食べる。」「３，一緒に食べたい人がいる。」「４，食事づくりや準備に関わる。」「５，食生活や健康に主体的に関わる。」である。食事を楽しく食べるためには生活のリズムが整い、空腹感や食欲を感じ、それを適切に満たす心地よさを経験することが重要となる。家庭、保育所、学校など、子どもが食事時間を過ごすときは、その集団で食事の環境を整える必要があり、家族や仲間などとの和やかな食事を経験することにより、安心感や信頼感を深めていくことも重要になる。子どもの周りに食事づくりに関わる魅力的な活動を増やし、ときには家族や仲間のために作ったり準備したりすることで満足感や達成感を得る経験も必要である。

酒井[2)]は食行動の発達のためには幼児期には「食べる意欲を大切に食の体験を広げる事」学童期には「食の体験を深め、食の世界を広げる」ことを通して楽しく食べる子どもに発達していくと述べている。入院中の患児は一人で食事をすることが多く、他の仲間と一緒に食事を楽しんで食べることができていないため、今回の食事会を開催して集団で食事をすること機会を作ることは大きな意義がある。

【方法】

１）対象：セミクリーンルームに入室中の幼児・学童

２）期間：２００８年１０月～１２月　毎週１、２回、合計４回実施予定

３）食事会の実施方法：（資料１参照）

集団による食事の実施は下記の手順で行う

① 前日までに食事会開催のポスターを作製し貼りだす

② 当日は昼食時に病室内へ集団で食事をするためのテーブルを設置

朝食は検査のため食事時間がバラバラとなり、夕食は家族と共に摂取するため、昼食時に実施

③ 11:30（院内学級終了後）よりテーブルを用意し、季節にちなんだテーブルクロスを月毎に準備、椅子のセッティング。

＜準備物品＞・テーブル１個　　カンファレンスルームのものを使用・テーブルクロス

・椅子は各自のものを持ち寄る

④ 準備の段階で患児に参加を促す。

⑤ 患児全員に手洗い、うがいを促す。

⑥ 全員で「いただきます。」をし、食事を開始する。

⑦ 食事終了後は全員に内服、歯磨きを促し行う。

⑧ テーブル・椅子の片付けを患児と共に行う。

4）食事会開催の評価・分析

（1）食事会には研究者が準備の段階から参加し、食事中の様子を観察する。観察項目は①うがい、手洗い、内服、歯磨き（行えた人/対象人数）②食事の準備（椅子準備、テーブルクロスをかける）③食事の片づけ（自分の箸を洗う、下膳、椅子の片付け、テーブル拭き）④食事中の患児の表情⑤食事マナー「いただきます、ごちそうさま」が言える「座って食事を行える」食事の様子（食事時間、食事風景）、うがい・手洗い・歯磨き・内服の実施について観察。

（2）集団での食事終了後、インタビューガイドに沿って聞き取り調査を毎回実施する。

（3）（1）・（2）の観察結果と聞き取り調査の結果をもとに、研究者間でその効果について検討。

資料1

食事会の評価調査用紙

食事会の観察項目

1. うがい、手洗い、内服、歯磨きを行えたか（行えた人／対象人数）
2. 食事の準備を行えたか　　（椅子準備、テーブルクロスをかける）
3. 食事の片づけを行えたか　　（自分の箸を洗う、下膳、椅子の片付け、テーブル拭き）
4. 食事中の患児の表情
5. 食事マナー
   - いただきます、ごちそうさまが言える
   - 座って食事を行える

患児・家族へ食事会後の聞き取り調査

1. 今日のごはんはどうだった？次のうちから選んでね。
   （すごく楽しかった、まあまあ楽しかった、普通、つまらなかった）

2. ともだちとお話しできたかな？
   （いっぱい話した、少し話した、話さなかった）

3. ひとりで食べるのとみんなで食べるのとどっちがいい？
   （ひとりがいい、みんなでがいい、ひとりで食べたい時もある）

【倫理的配慮】

事前に対象患児の保護者に対し、研究の趣旨や方法を口頭と文書で説明し、同意を得る。集団食事への参加に対する自由意志を尊重し、途中辞退の自由と不参加による不利益を被らないことを説明し文書にて同意を得る。本人達には食事会の都度口頭で説明し食事会への参加をもって同意が得られたものとする。信州大学医学部附属病院の看護研究倫理委員会の承認を得て開始した。

【結果】

1）参加者：小児科入院中の幼児・学童の患児延べ17名。面会家族も参加する。

2）２００８年１０～１１月の期間中の昼食時に４回の食事会を実施。

3）食事会の実際（写真１～３）

前日までに食事会開催のポスターを作製し貼出され、昼食時に病室内へ集団で食事をするためのテーブルを患児の協力を得て設置。季節にちなんだテーブルクロスを月毎に準備、椅子のセッティング。＜準備物品＞・テーブル１個　　カンファレンスルームのものを使用・テーブルクロス

・椅子は各自のものを持ち寄る

患児全員に手洗い、うがいを促し、全員で「いただきます。」をして食事を開始。食事終了後は全員に内服、歯磨きを促し行う。その後テーブル・椅子の片付けを患児と共に行い終了した。

4）食事会の観察と聞き取り調査　（表１）

（1）食事会の観察：病室、病棟の廊下に貼り出された食事会のポスターを見た患児からの反応として「今日は食事会だね」「何時から始まるの」と楽しみにする言葉が聞かれた。

テーブルクロスには季節にちなんだ飾り付けを作って入れたため、中にはテーブルクロスに飾る飾りや食事会のポスターを作る患児もおり、患児たちは積極的に準備へ参加した。参加した患児に声を掛けると、子どもたちは皆で一緒に食前の含嗽、手洗いを行い、「いただきます」・「ごちそうさま」ができた。食事終了後は内服、歯磨きを促し、皆で一緒に実施した。テーブルと椅子の片付けにも自分たちから手伝いを申し出た。

写真１

写真２

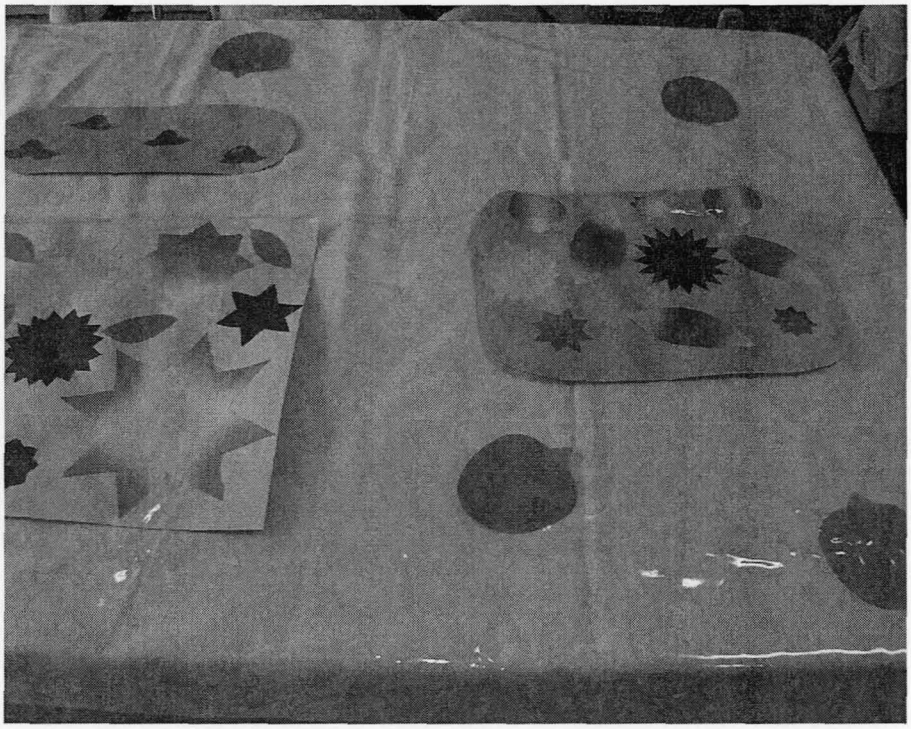

写真３

食事中の様子は、患児同士が院内学級での話や好き嫌い、自分が飲んでいる薬について話す姿や看護師を介して会話をする姿が見られた。食事中ゲームをしている子がいると他の子がそれを注意したり、学童の子が幼児の子の物が落ちないよう気を配ったりしていた。3 回目の食事会では、前回準備が一番遅かった子が手洗い、うがいを早めに行ったり、検査で食事会を開始する時間にいない子を食べずに待つといった姿もあった。

（2）聞き取り調査の結果（図１）

インタビューガイドに沿って、食事会の感想としては「すごく楽しかった」・「まあまあ楽しかった」16 名、「普通」1 名、「楽しくなかった」0 名。

食事中の会話は「いっぱい話した」4 名「少し話した」13 名「会話しなかった」0 名。

今後の食事会の参加については「皆で食べたい」14 名、「ひとりで食べたい時もある」3 名、「ひとりで食べたい」0 名だった。

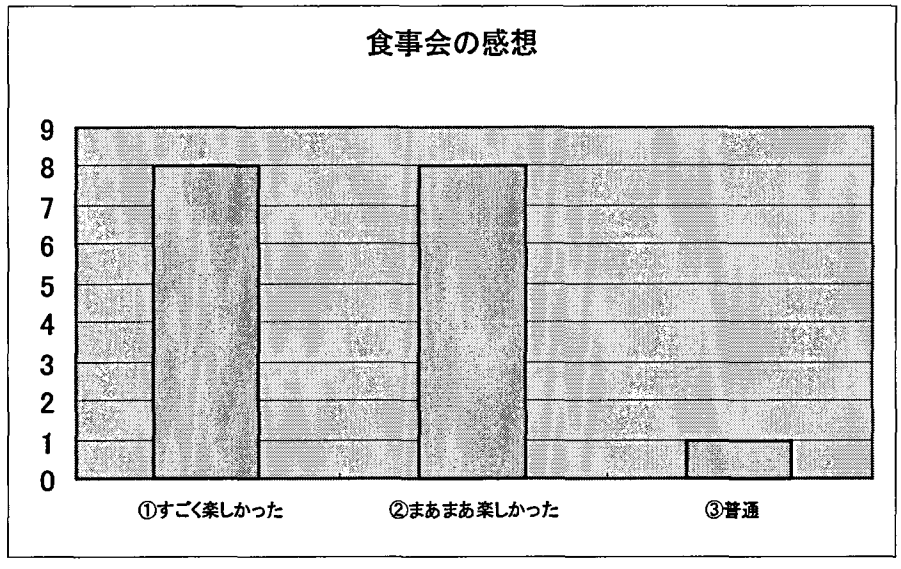
食事会の感想
9
8
7
6
5
4
3
2
1
0
①すごく楽しかった
②まあまあ楽しかった
③普通

図1

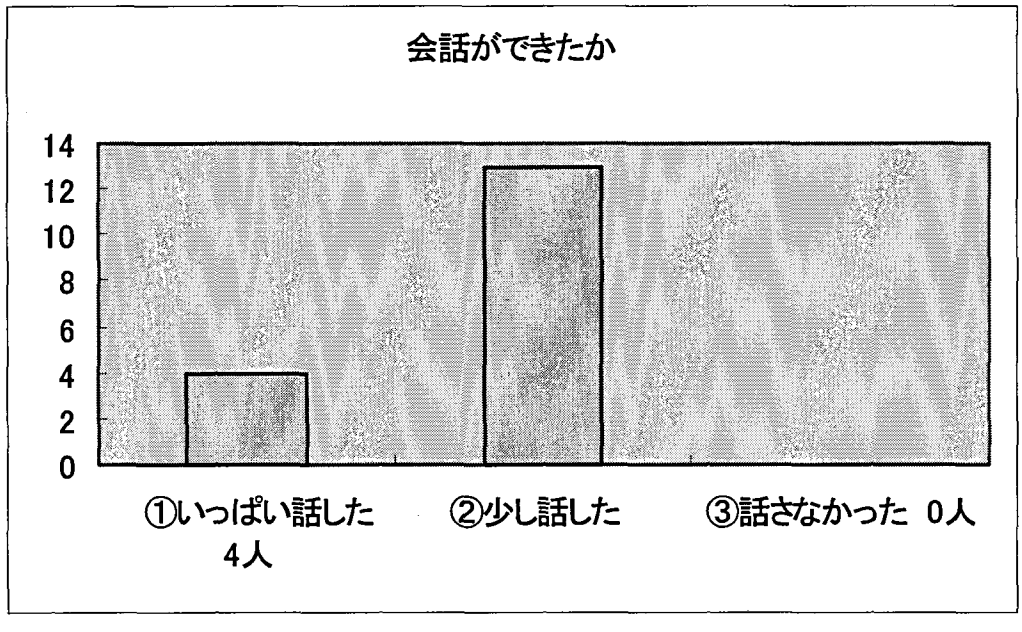
会話ができたか
14
12
10
8
6
4
2
0
①いっぱい話した
4人
②少し話した
③話さなかった 0人

図2

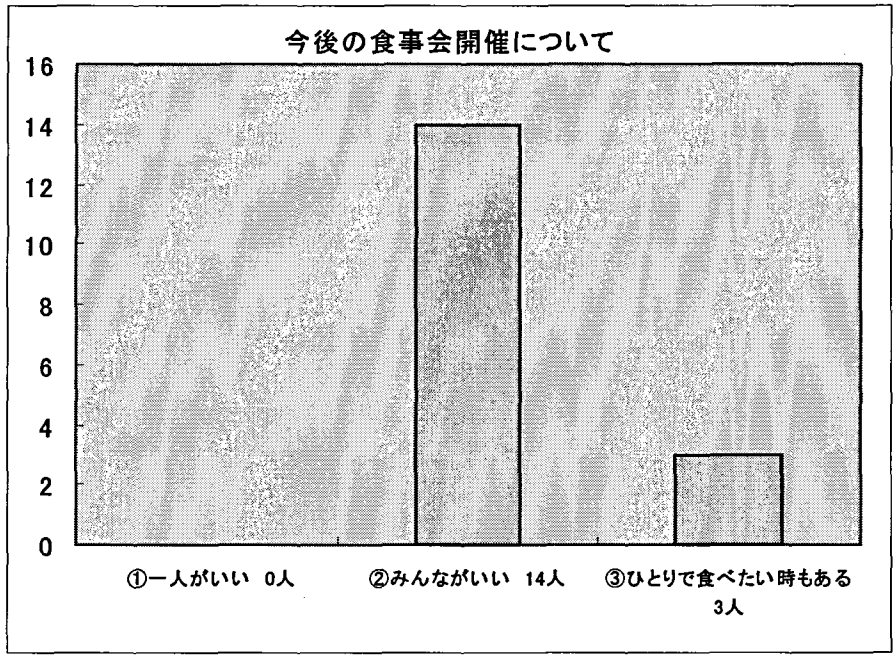

図3

その他同席していた母からも「こういうのいいですね」「文句言わずに食べてるね」といった言葉が聞かれた。

(3)セミクリーンルーム内の対象患児がほぼ全員参加し、面会家族からの評価もよかった。食事会を楽しく感じた患児がほとんどであり、集団でおこなう食事は意義がある。

表1　食事会の観察とアンケート結果

☆観察項目	1回目　参加者4名	2回目　参加者6名	3回目　参加者3名	4回目　参加者4名
・うがい	4人	6人	3人	4人
・手洗い	4人	6人	3人	4人
・内服	4人	6人	3人	4人
・歯磨き	4人	5人	3人	4人
☆食事中の様子 ・年長が主に会話している ・話をふられるとみんながしゃべる ・Nsを仲介したりする ・他の子をまねて左ききの子が右手で箸を使う ・食事のスピードが違う。年長者が早く、片付けをして席を外す ・ばらばら解散 ・みんな着席して箸を使って食べており食事マナーも守られていた		・学校での話をしている ・年長の子が小さい子の物が落ちないように注意している ・自分の内服薬について話す ・食べ物の好き嫌いについて ・他の部屋の子が来て会話	・母が会話に入って話が弾む ・母が食事動作のしつけを行う ・前回準備が一番遅かった子が準備を早めに行い、みんなといただきますができた	・食事会に遅れた子が戻るまで食べずに待っている ・他の部屋の子が来て横でゲームをやっており、食事から気がそれる ・母より 「こういうのいいですよね」

【考察】

厚生労働省の「食を通じた子どもの健全育成（いわゆる「食育」の視点から）のあり方に関する検討会」報告書.楽しく食べる子どもに;食から始まる健やかガイドによると、「楽しく食べることは、生活の質（ＱＯＬ）の向上につながるものであり、身体的、精神的、社会的健康につながるものである。また、子どもにおいて、食事の楽しさは、食欲や健康状態、食事内容、一緒に食べる人、食事の手伝いといったことと関連している。」と報告されている。

食欲のない患児に単に言葉で食事を勧めるだけでは食事が強制されたものとなってしまい、食事は苦痛となる。今回入院患児を対象として開催した食事会ではポスターをみた患児から食事会を楽しみにする言葉が聞かれ、食事を楽しみに待つ時間を持てた。そして仲間と一緒に食事の準備を整え、一緒に食事を摂ることで楽しい食事となったと思われる。

食事会は患児の自由参加であったが、対象患児がほぼ全員参加し、面会家族からの評価もよかった。子どもたちの会話が弾み食事会を楽しく感じた患児がほとんどであった。

また、化学療法のため食欲のない、または嗜好が偏り偏食傾向のある子ども達にとっては、仲間と一緒に食事をすることがおいしいと感じることにもつながったと考える。嫌いな献立も頑張って口に入れる様子などから一緒に食事をすることによって相互作用が働き、食べることができたのではないかと思われる。

食事前の「いただきます。」食事後の「ごちそうさまでした」のあいさつは一人で食事をしている時にはほとんど聞かれない言葉である。また、母親が食事中に子どもにしつけを行ったり、子ども同士で箸の持ち方を学びあう等、食事会では楽しむことだけでなく、食事マナーや食事の準備を手伝う姿勢が養われる機会である。

看護師は食事会に参加をすることで、患児の成長発達上の問題点や子どもたちが普段見せない姿を観察することができ、治療・看護上の必要な情報を把握することができるようになると考える。現在、集団で食事会を行う場所は準クリーンルームであり、食事のできる環境作りが制限される。また、対象患児の精神的、身体的状況により参加・不参加の変動は大きいため、状況に応じて開催方法を変えるなどの工夫をしていく必要がある。今後も患児を対象にした食事会を開催することは、看護上重要でありそれを援助することが看護師の役割ではないかと思う。

【結論】

１、入院患児が食事会に参加して皆で食事をすることは、食事を楽しみ食の充足感につながる。

２、食事会では集団の中で子ども同士の相互作用による食事中のマナーが身に付く。

【引用・参考文献】

1）厚生労働省：「食を通じた子どもの健全育成（いわゆる「食育」の視点から）のあり方に関する検討会」報告書．楽しく食べる子どもに；食から始まる健やかガイド，日本児童福祉協会，2004.

2）酒井治子：子どもの食をめぐる現状と、食をとおした子育ち・子育て支援，小児看護，Vol.30 No7，P874－P879，　2007.

【参考文献】

1）大曽契子他：入院患児家族の医療上管理上ストレス軽減の試み一患児家族と医療スタッフのミーティングを通して一，第34回日本看護学会論文集（小児看護），P86-88、2003.

2）堀田法子他：「長期入院児における昼食会のもつ意味」に関する考察，日本小児看護研究会誌２(1)P13－18.

3）船木康子他：小児がんで化学療法を受けた幼児の食事の実態と家族の関わり，日本看護学会論文集，小児看護38，P128－130.

4）藤沢良知：小児期からの食教育環境の重要性，公衆衛生70(5)，P354－357